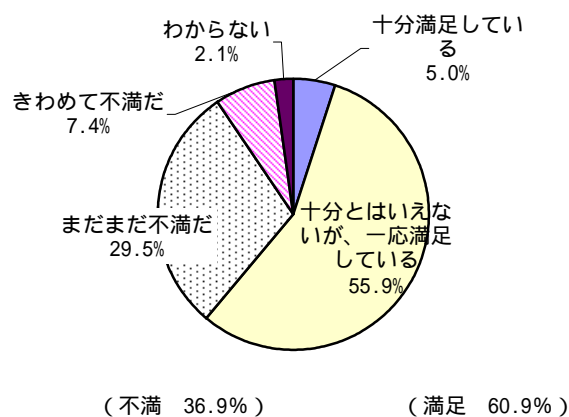


## 問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

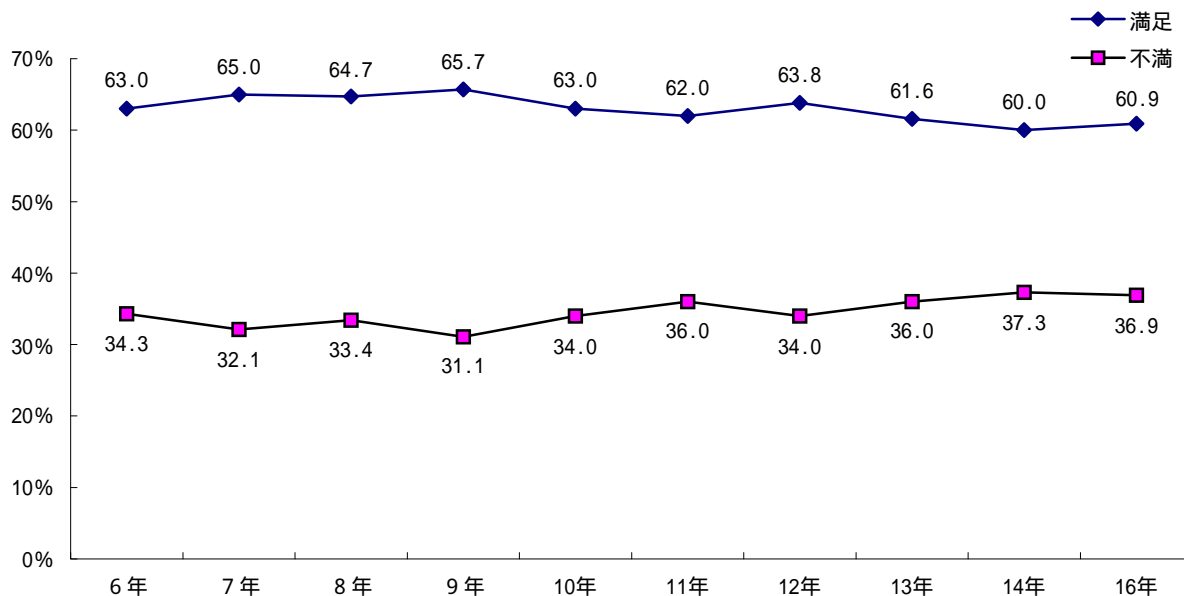
	(%)
1 十分満足している	5.0
2 十分とはいえないが、一応満足している	55.9
3 まだまだ不満だ	29.5
4 きわめて不満だ	7.4
5 わからない	2.1

現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が60.9%（「十分満足している」（5.0%）及び「十分とはいえないが、一応満足している」（55.9%）と、「不満」と答えた人の36.9%（「まだまだ不満だ」（29.5%）及び「きわめて不満だ」（7.4%））を大きく上回っている。



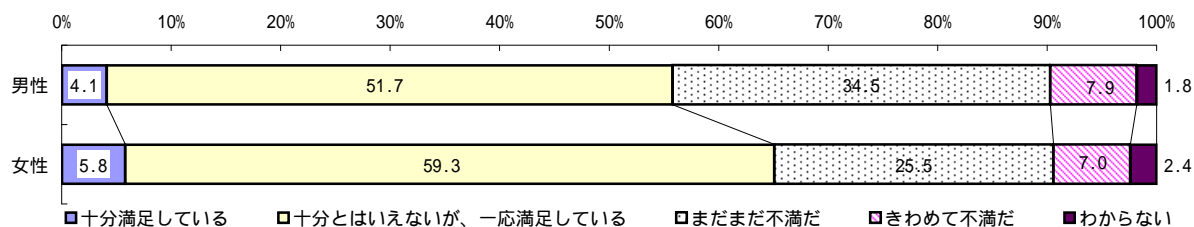
### 【経年変化】

前回調査に比べ、「満足」と答えた人の割合が0.9ポイント増加し、「不満」と答えた人の割合が0.4ポイント減少している。



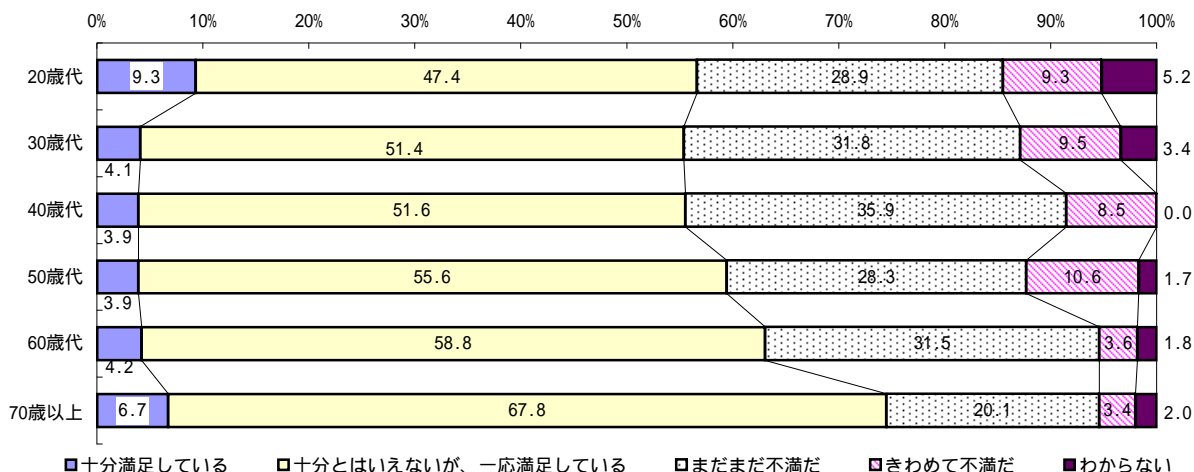
### 【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で55.8%、女性で65.1%と、暮らしに対する満足度は、女性の方が9.3ポイント高くなっている。



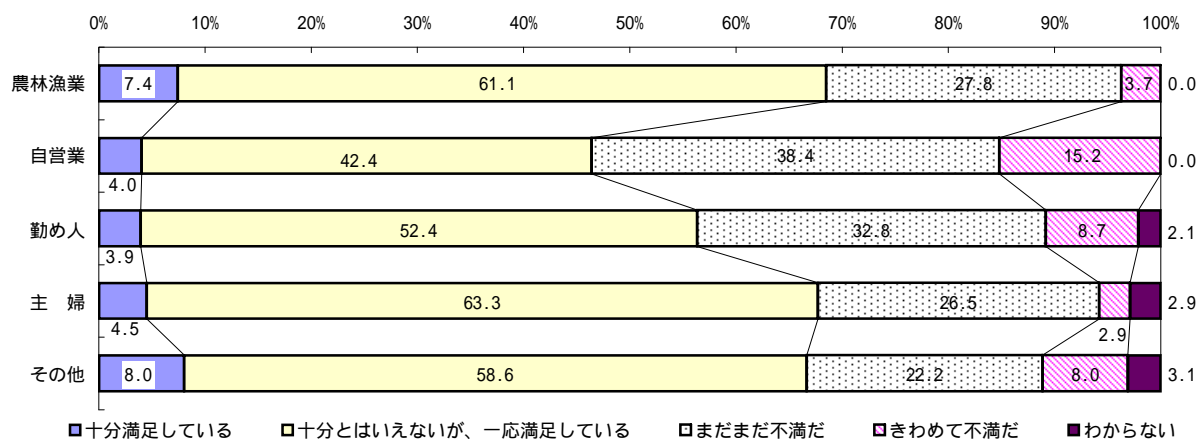
### 【年齢別】

年齢別にみると、「満足」と答えた人の割合は、70歳以上（74.5%）で最も高く、以下60歳代（63.0%）、50歳代（59.5%）の順となっており、30歳代、40歳代（55.5%）で最も低くなっている。



### 【職業別】

職業別にみると、「満足」と答えた人の割合は、農林漁業（68.5%）で最も高く、自営業（46.4%）で最も低くなっている。

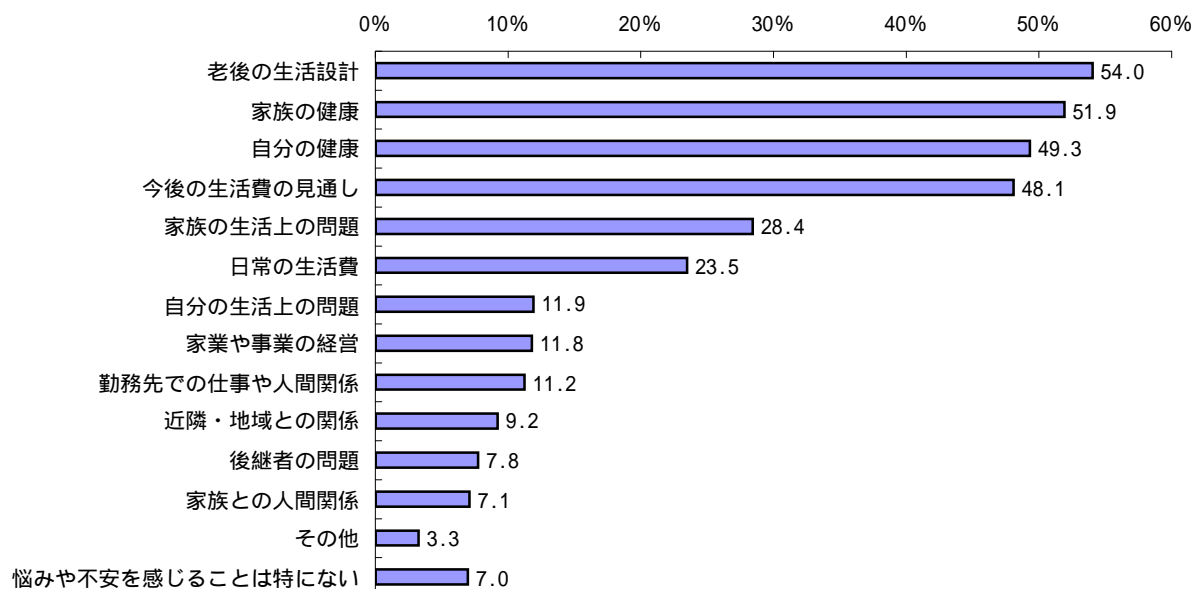


## 問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつかでも選んで番号を で囲んでください。

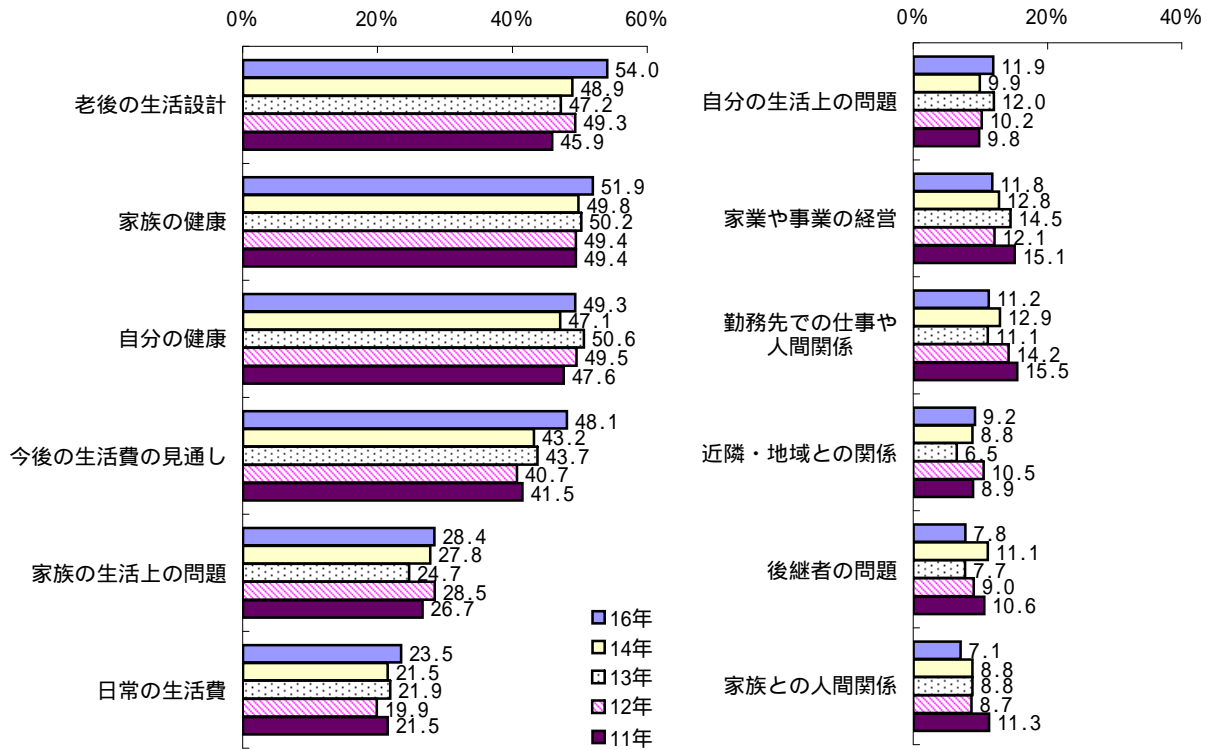
	(複数回答)	(%)
1 自分の健康について		49.3
2 家族の健康について		51.9
3 自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		11.9
4 家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について		28.4
5 日常の生活費について		23.5
6 今後の生活費の見通しについて		48.1
7 後継者の問題(家業、農林漁業の将来)について		7.8
8 家業や事業の経営(農林漁業を含む)について		11.8
9 家族との人間関係について		7.1
10 近隣・地域との関係について		9.2
11 勤務先での仕事や人間関係について		11.2
12 老後の生活設計について		54.0
13 その他		3.3
14 悩みや不安を感じることは特にない		7.0

日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「老後の生活設計について」と答えた人の割合が54.0%と最も高く、以下「家族の健康について」(51.9%)、「自分の健康について」(49.3%)、「今後の生活費の見通しについて」(48.1%)、「家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について」(28.4%)の順であり、悩みや不安の多くは健康や将来の生活に関することとなっている。なお、「悩みや不安を感じることは特にない」と答えた人の割合は7.0%であった。



【経年変化】

経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成11年調査以降、大きな変化は見られないが、前回調査と比較して、「老後の生活設計」では5.1ポイント、「今後の生活費の見通し」では4.9ポイントそれぞれ増加している。

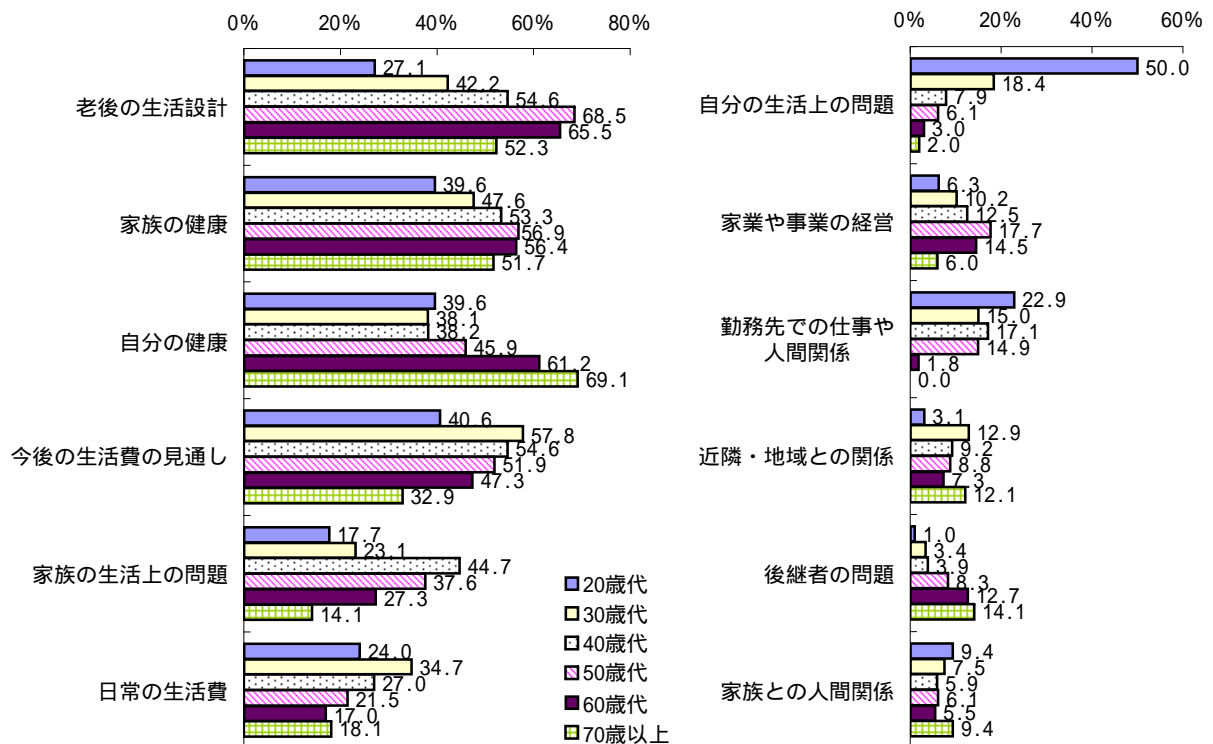


【年齢別】

年齢別にみると、「自分の健康について」は、概ね年齢層が高いほど高く、70歳以上では69.1%を占め、「自分の生活上の問題について」と答えた人の割合は年齢層が低いほど高く、20歳代で50.0%となっている。

また、「老後の生活設計について」は50歳代で68.5%、「今後の生活費の見通し」は30歳代で57.8%と、それぞれ他の年齢層と比較して高く、30歳代から50歳代で、将来の生活面での悩みや不安を感じている人が多いことがうかがえる。

年齢別に悩みや不安の第1位をみると、20歳代では「自分の生活上の問題」、30歳代では「今後の生活費の見通し」、50歳代、60歳代では「老後の生活設計」、70歳以上では「自分の健康」となっており、40歳代では「今後の生活費の見通し」、「老後の生活設計」が同率となっている。

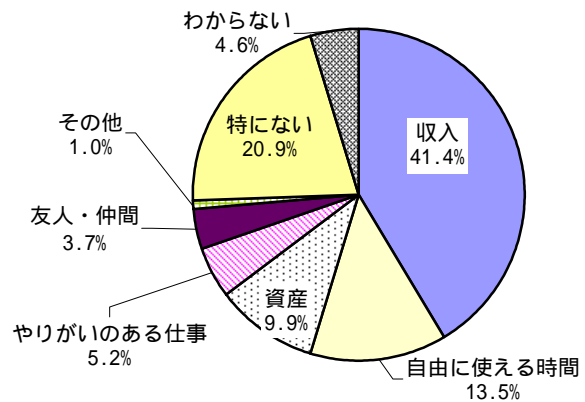


## 問8 普段の生活で不足しているもの

あなたが普段の生活の中で最も不足していると思うものはなんですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

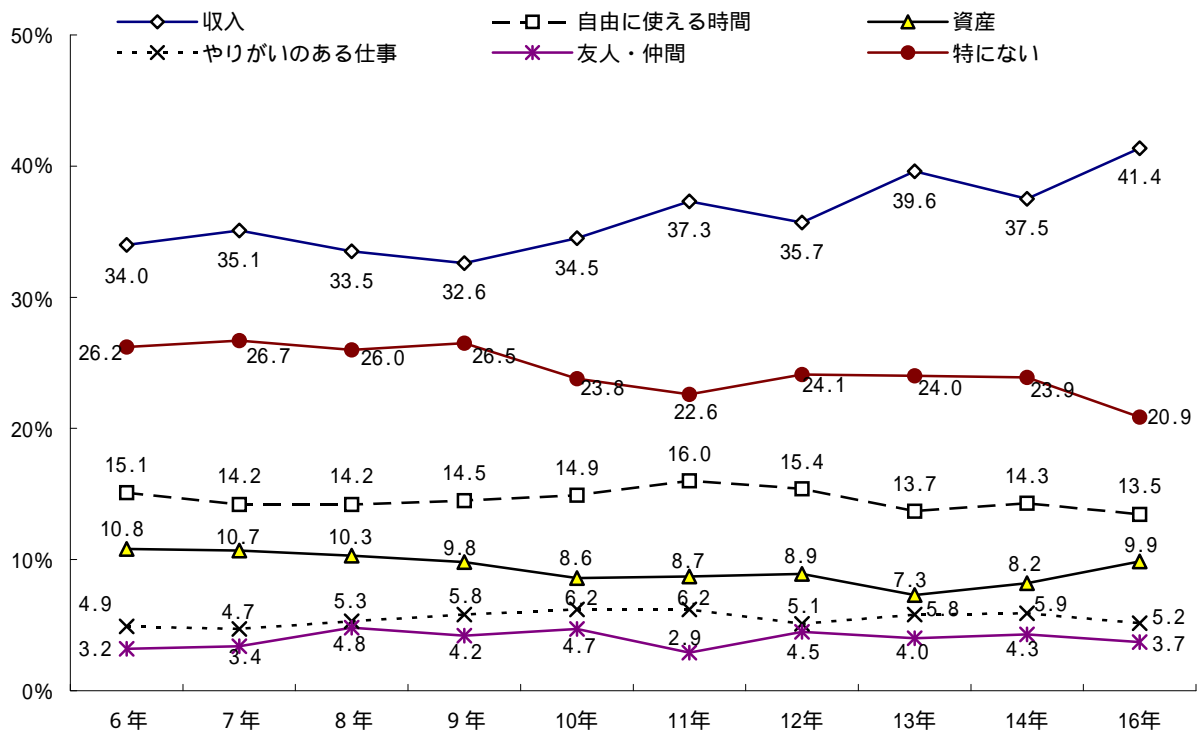
	(%)
1 自由に使える時間	13.5
2 収入	41.4
3 資産(土地、家屋、預貯金等)	9.9
4 やりがいのある仕事	5.2
5 友人・仲間	3.7
6 その他	1.0
7 特にない	20.9
8 わからない	4.6

普段の生活の中で最も不足していると思うものを聞いたところ、「収入」と答えた人の割合が41.4%と特に高く、以下「自由に使える時間」(13.5%)、「資産(土地、家屋、預貯金等)」(9.9%)などの順となっている。  
なお、20.9%の人は「特にない」と答えている。



### 【経年変化】

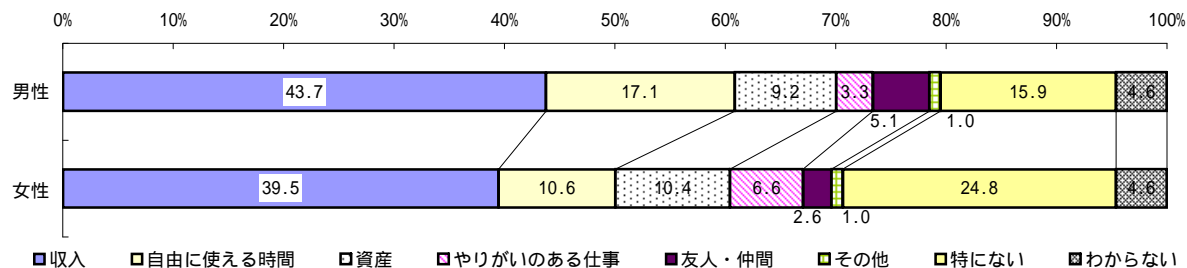
前回調査と比較すると、「収入」と答えた人の割合は3.9ポイント、「資産」と答えた人は1.7ポイント増加しており、その他の項目ではわずかに減少している。



### 【性別】

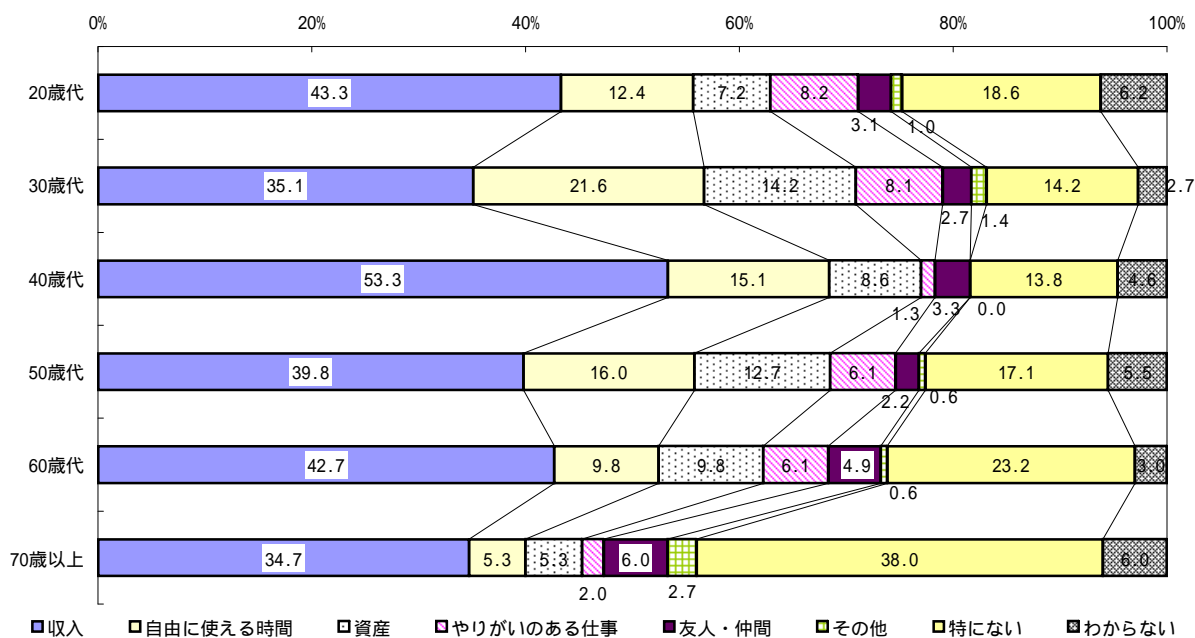
性別にみると、男性、女性ともに「収入」と答えた人の割合が最も高く、男性（43.7%）の方が女性（39.5%）より4.2ポイント高くなっている。また、「自由に使える時間」と答えた人は、男性（17.1%）の方が女性（10.6%）より6.5ポイント高くなっている。

普段の生活の中で、不足しているものが「特にない」と答えた人の割合は、女性（24.8%）の方が男性（15.9%）より8.9ポイント高く、問6の「暮らしに対する満足度」同様、女性の方が現在の生活に満足していることがうかがえる。



### 【年齢別】

年齢別にみると、20～60歳代では「収入」と答えた人の割合が最も高く、70歳以上では、不足しているものは「特にない」と答えた人が38.0%を占め、「収入」以外の項目について不足しているとする人の割合は低く、現在の生活に満足している人の割合が高いことがうかがえる。

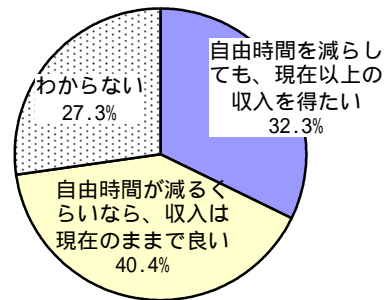


## 問9 自由時間と収入についての考え方

あなたは、自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思いますか。それともそうは思いませんか。あなたの考えはどちらに近いですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい	32.3
2 自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い	40.4
3 わからない	27.3

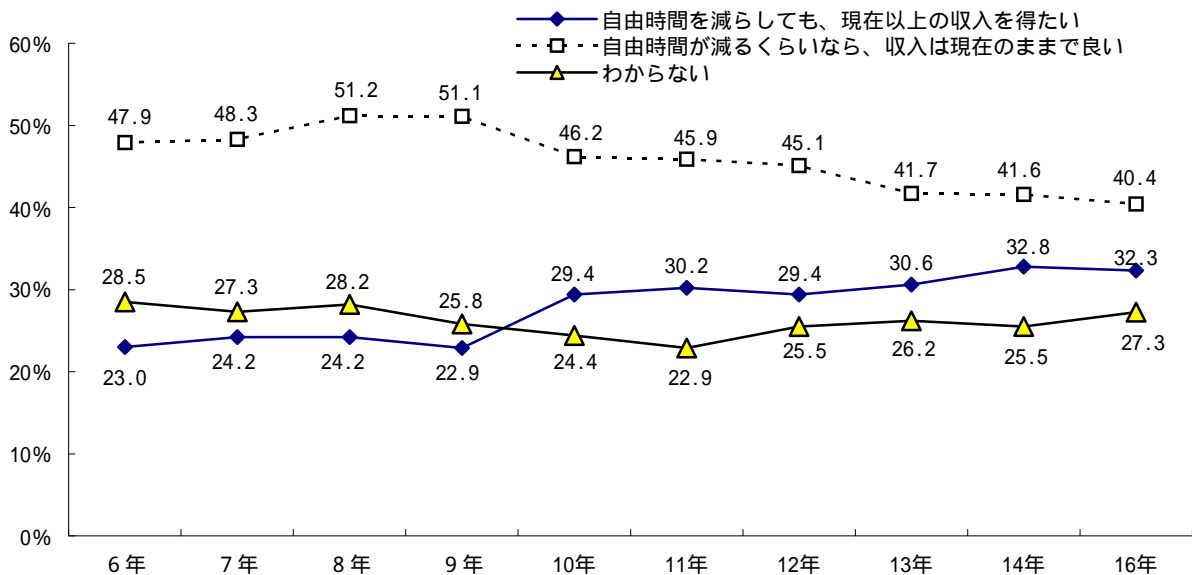
自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たいと思うか、それともそうは思わないかを聞いたところ、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が32.3%、一方「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が40.4%と、自由時間を重視する人の方が多くなっている。



### 【経年変化】

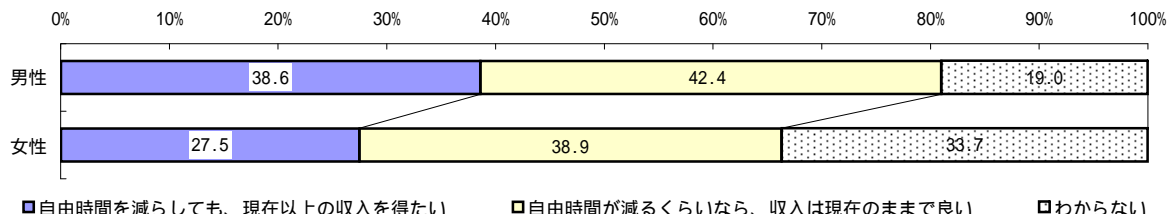
経年変化をみると、引き続き自由時間への志向は強いものの、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が、前回調査に比べ1.2ポイント減少し、前回調査同様自由時間派は減少している。

なお、自由時間派と収入派の差は8.1ポイントと、6年調査以降、最も小さくなっている。



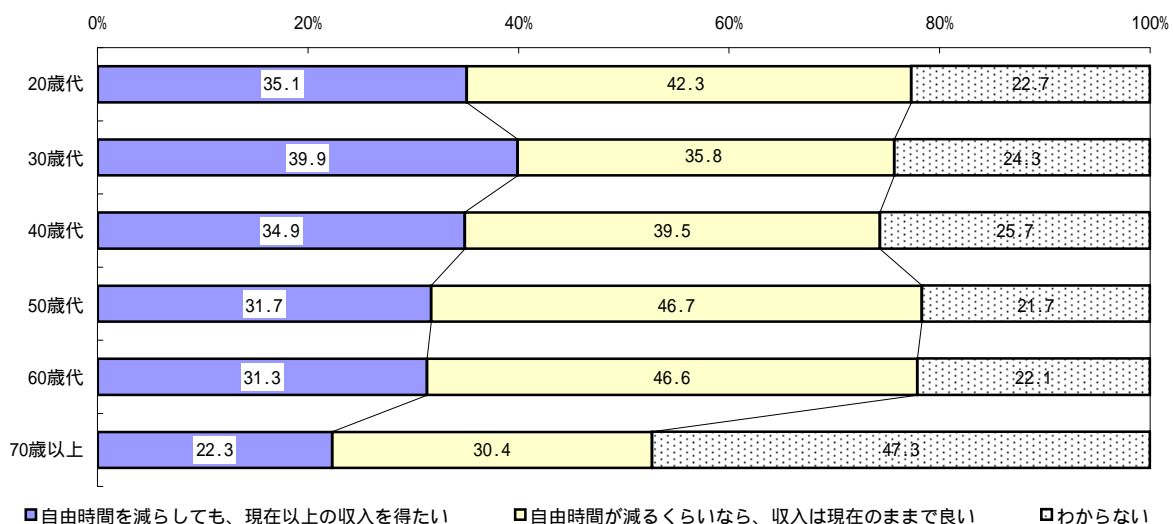
### 【性別】

性別にみると、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は、男性（38.6%）の方が女性（27.5%）に比べて11.1ポイント高くなっている。



### 【年齢別】

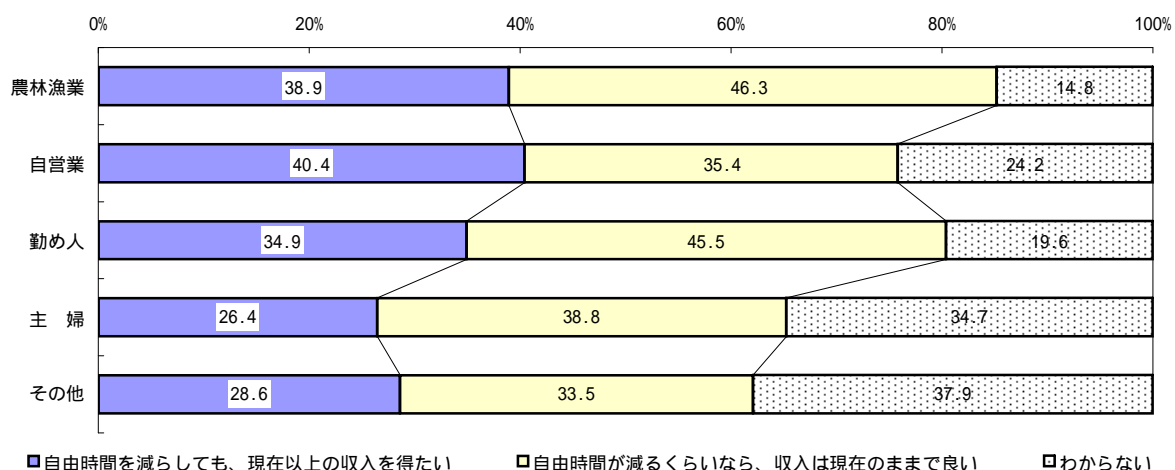
年齢別にみると、30歳代を除き、「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が高くなっている。また、「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合は70歳以上（22.3%）で最も低くなっている。



### 【職業別】

職業別にみると、自営業においては「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」と答えた人の割合が高くなっている。

また、農林漁業、勤め人では「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」と答えた人の割合が他の職業に比べて高くなっている。



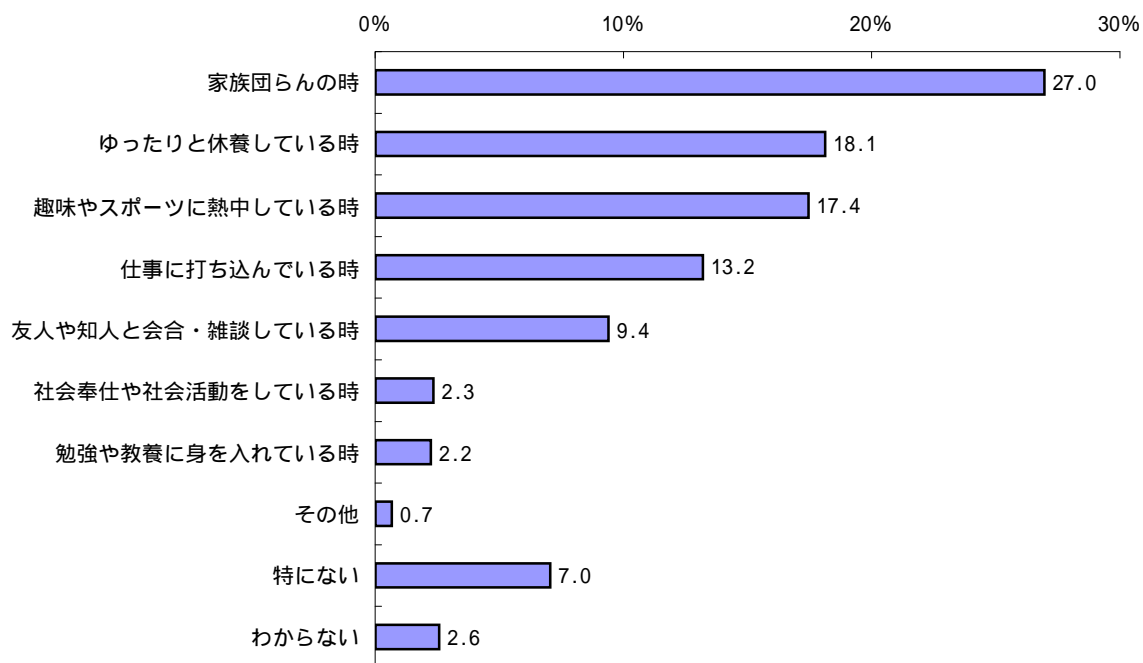


## 問10 日常生活で充実感を感じる時

あなたは、日ごろの生活で充実感を感じるのは主にどのような時ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

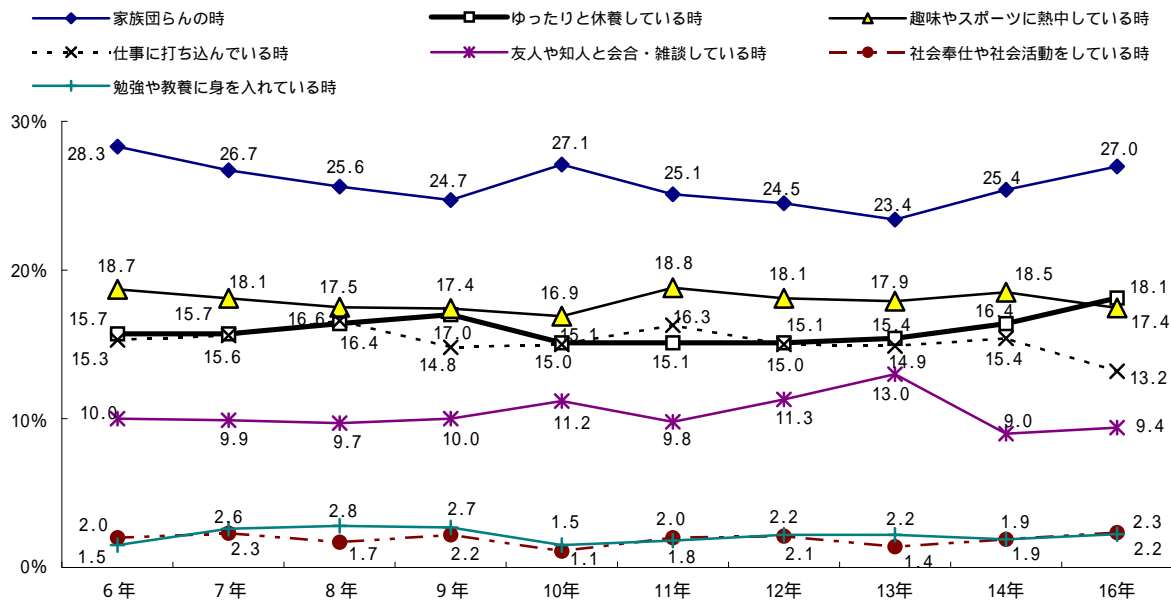
	(%)
1 仕事に打ち込んでいる時	13.2
2 勉強や教養に身を入れている時	2.2
3 趣味やスポーツに熱中している時	17.4
4 ゆったりと休養している時	18.1
5 家族団らんの時	27.0
6 友人や知人と会合・雑談している時	9.4
7 社会奉仕や社会活動をしている時	2.3
8 その他	0.7
9 特にない	7.0
10 わからない	2.6

日頃の生活で充実感を感じるのはどのような時かを聞いたところ、「家族団らんの時」と答えた人の割合が27.0%と最も高く、以下「ゆったりと休養している時」(18.1%)、「趣味やスポーツに熱中している時」(17.4%)、「仕事に打ち込んでいる時」(13.2%)、「友人や知人と会合・雑談している時」(9.4%)などの順となっている。



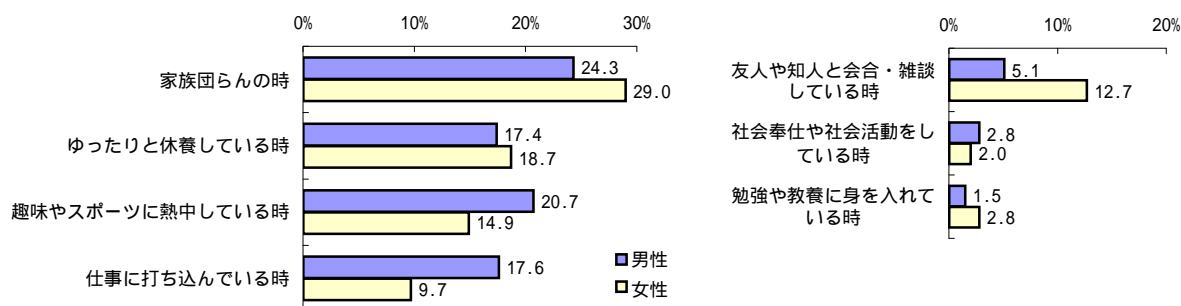
【経年変化】

経年変化をみると、「趣味やスポーツに熱中している時」と答えた人の割合は1.1ポイント、「仕事に打ち込んでいる時」は2.2ポイント減少し、「ゆったりと休養している時」は1.7ポイント増加している。



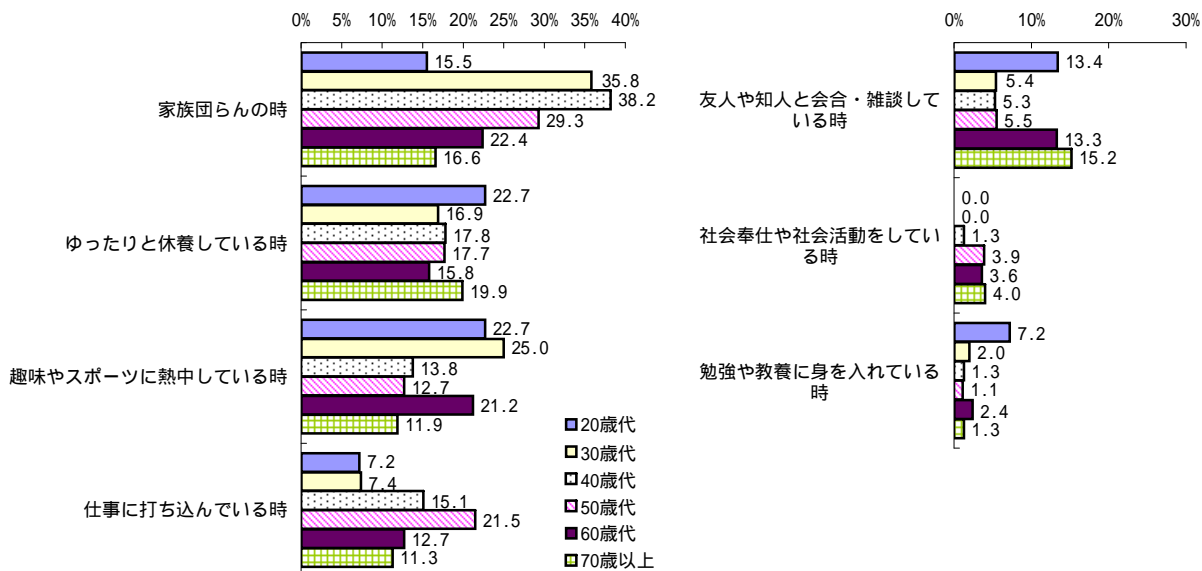
【性別】

性別にみると、「趣味やスポーツに熱中している時」や「仕事に打ち込んでいる時」と答えた人の割合は男性で、「家族団らんの時」、「友人や知人と会合・雑談している時」は女性でそれぞれ高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「ゆったりと休養している時」の項目では20歳代で最も高く、「趣味やスポーツに熱中している時」では30歳代、「家族団らんの時」では40歳代、「仕事に打ち込んでいる時」では50歳代、「友人や知人と会合・雑談している時」では70歳以上で高くなっている。



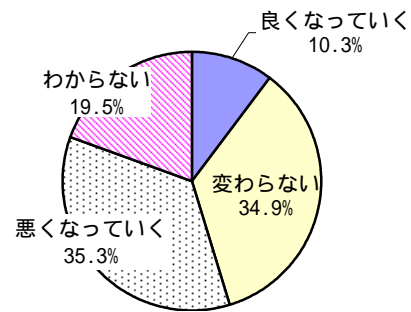
### 問11 暮らしの先行き観

お宅の暮らしは、これから先、良くなっていくと思いますか。それとも悪くなっていくと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

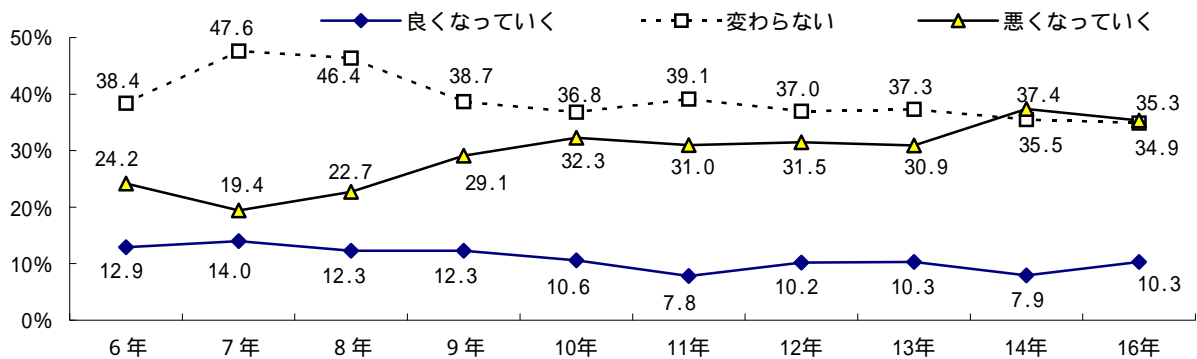
1 良くなっていく	10.3
2 変わらない	34.9
3 悪くなっていく	35.3
4 わからない	19.5

暮らしがこれから先、良くなっていくと思うか、それとも悪くなっていくと思うかを聞いたところ、「悪くなっていく」と答えた人の割合が35.3%と最も高く、「変わらない」と答えた人の割合は34.9%、「良くなっていく」と答えた人の割合は10.3%であった。



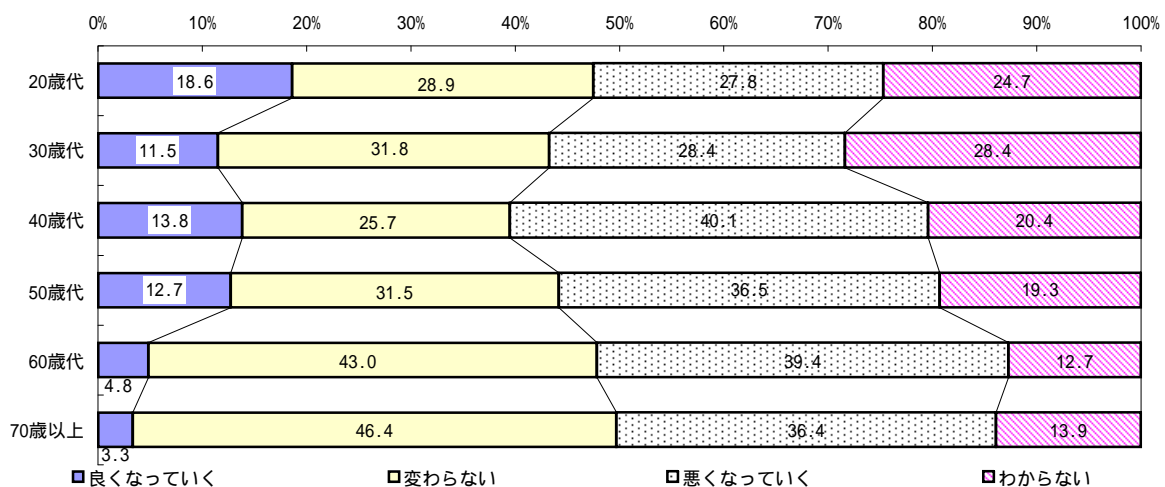
#### 【経年変化】

経年変化をみると、「良くなっていく」と答えた人の割合が、前回調査に比べ2.4ポイント増加し、「悪くなっていく」は2.1ポイント減少している。



#### 【年齢別】

年齢別にみると、「良くなっていく」と答えた人の割合は概ね年齢層が低いほど高く、一方「悪くなっていく」と答えた人の割合は40歳代、60歳代で高くなっている。また、「変わらない」と答えた人の割合は70歳以上で最も高くなっている。

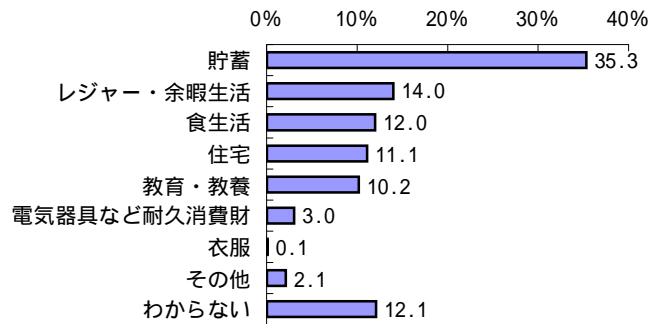


## 問12 改善したい暮らし向き

今後、お宅の暮らしてどのような面に力を入れたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

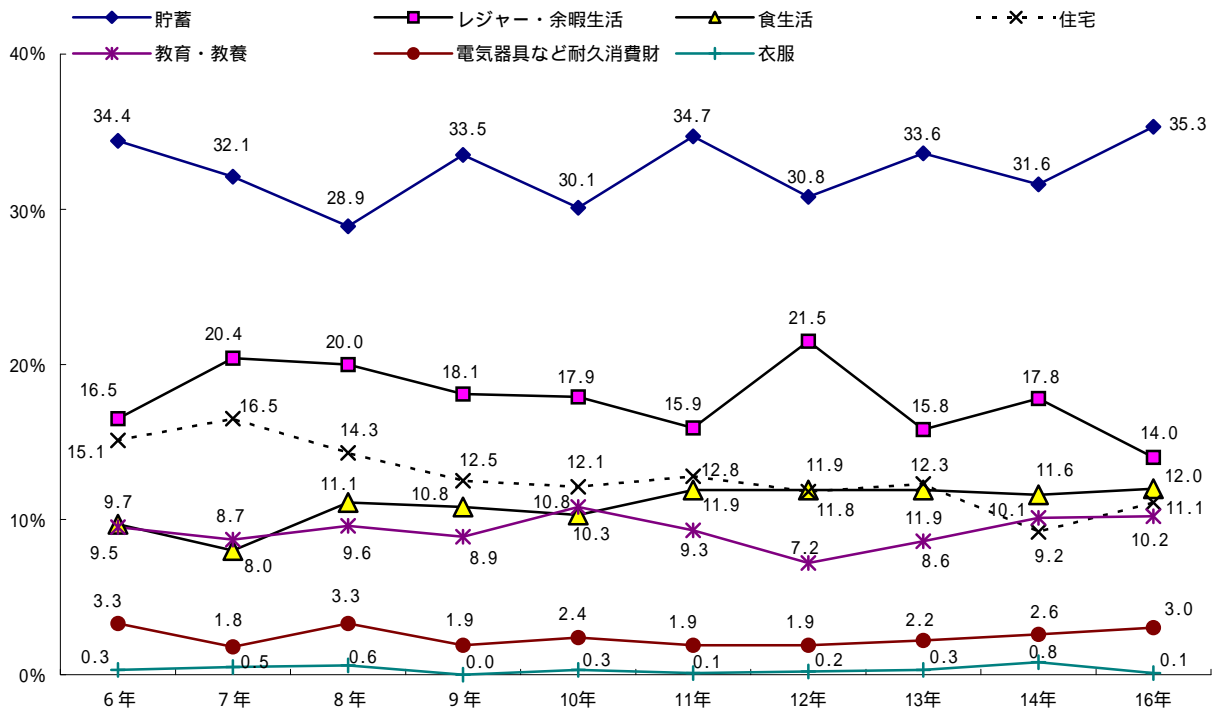
	(%)
1 食生活	12.0
2 衣服	0.1
3 電気器具、家具、自動車など耐久消費財	3.0
4 住宅	11.1
5 貯蓄	35.3
6 教育・教養	10.2
7 レジャー・余暇生活	14.0
8 その他	2.1
9 わからない	12.1

今後の暮らしでどのような面に力を入れたいかを聞いたところ、「貯蓄」と答えた人の割合が35.3%と最も高く、以下「レジャー・余暇生活」(14.0%)、「食生活」(12.0%)、「住宅」(11.1%)などの順となっている。



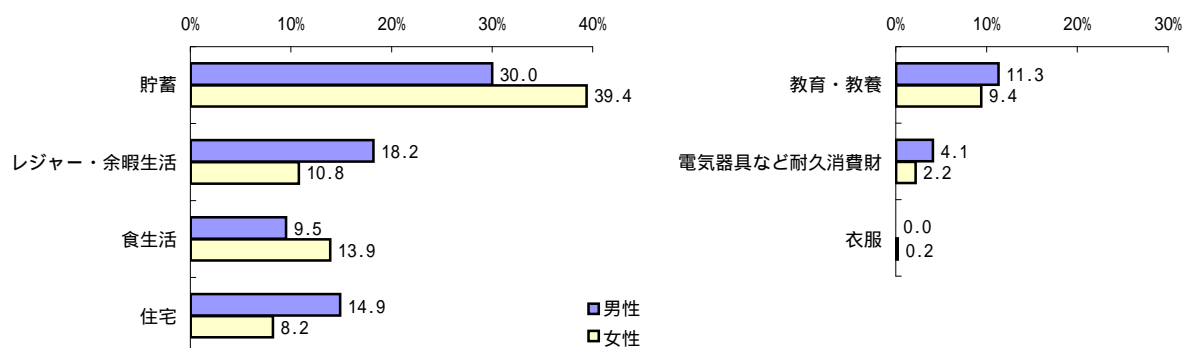
### 【経年変化】

経年変化をみると、「貯蓄」に力を入れたいと答えた人の割合が前回調査に比べ3.7ポイント増加し、「レジャー・余暇生活」は3.8ポイント減少している。



### 【性別】

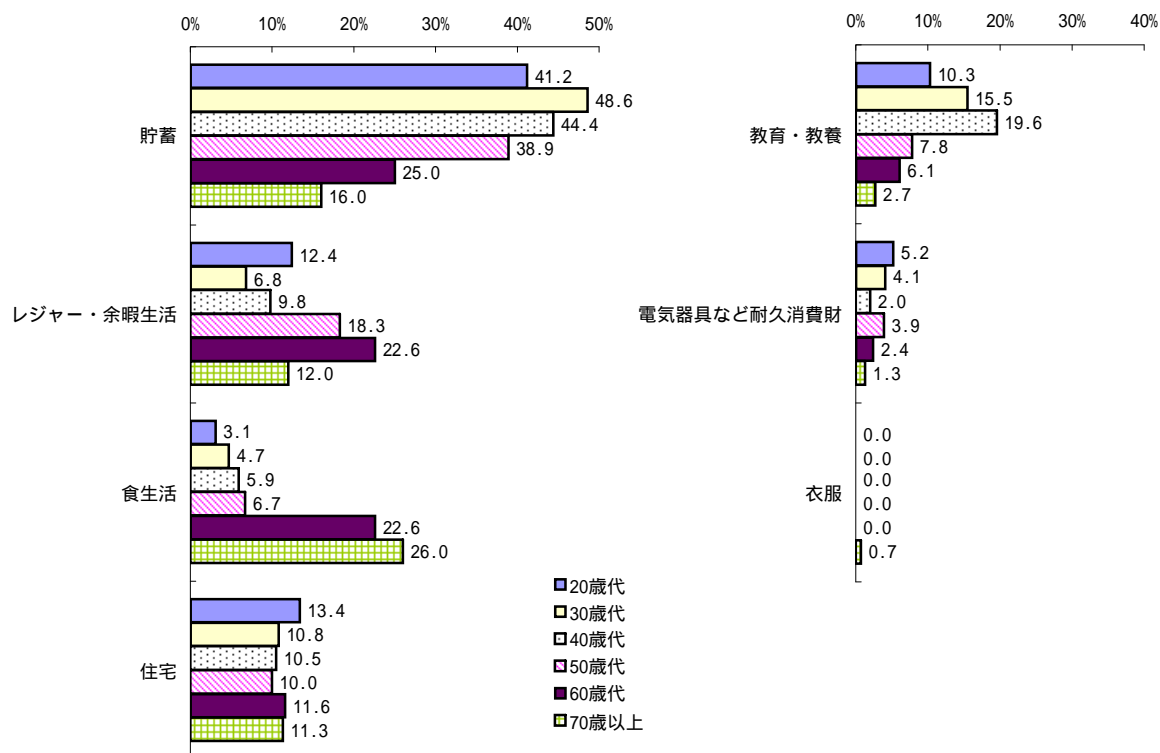
性別にみると、男性、女性ともに「貯蓄」と答えた人の割合が最も高く、「レジャー・余暇生活」、「住宅」は男性で、「貯蓄」、「食生活」は女性で高くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上を除くいずれの年齢層においても「貯蓄」と答えた人の割合が最も高く、その割合は30歳代（48.6%）で最も高くなっている。

また、「食生活」と答えた人の割合は70歳以上で、「レジャー・余暇生活」は60歳代で、「教育・教養」は40歳代で、それぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



### 問13 今後の暮らしに対する考え方

今後の暮らしについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

- |   |                                                  |      |
|---|--------------------------------------------------|------|
| 1 | 物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい | 28.0 |
| 2 | まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい                     | 21.9 |
| 3 | 一概にはいえない                                         | 39.3 |
| 4 | わからない                                            | 10.8 |

では、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(N = 248)

(%)

- |   |                   |      |
|---|-------------------|------|
| 1 | 精神修養・自己研さんに努める    | 6.0  |
| 2 | 趣味や習い事に生きがいを見つける  | 12.5 |
| 3 | 健康を大切にする          | 36.3 |
| 4 | 家族・友人とのふれあいを大切にする | 29.0 |
| 5 | 社会奉仕など社会のためにつくす   | 5.2  |
| 6 | 自然とのふれあいを大切にする    | 10.1 |
| 7 | その他               | 0.4  |
| 8 | わからない             | 0.4  |

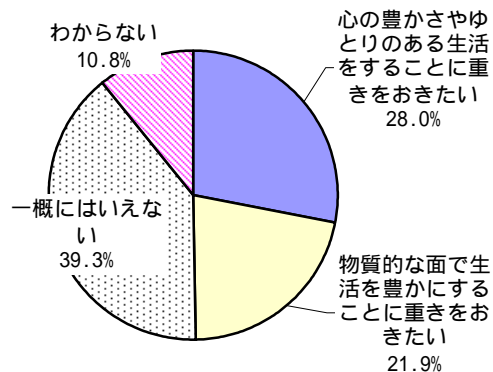
では、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(N = 193)

(%)

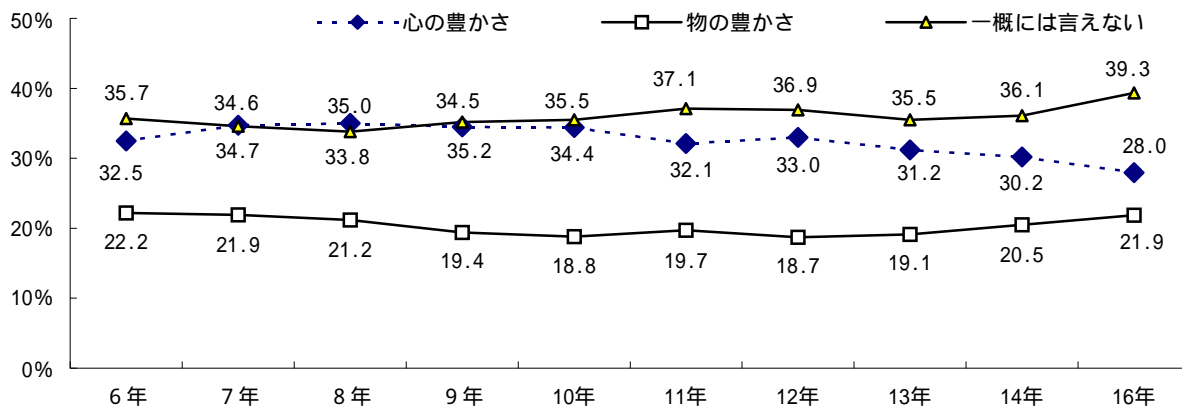
- |   |                                       |      |
|---|---------------------------------------|------|
| 1 | おいしいものをたびたび食べる                        | 5.2  |
| 2 | 耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし | 22.8 |
| 3 | 広くて設備の整った家に住む                         | 37.8 |
| 4 | 趣味・娯楽に関する良いものを購入する                    | 19.2 |
| 5 | 衣服や身の回りのおしゃれができる                      | 3.6  |
| 6 | その他                                   | 8.8  |
| 7 | わからない                                 | 2.6  |

今後の暮らし方として、心の豊かさか、物の豊かさか、どちらに重点をおきたいと思うかを聞いたところ、「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」（以下「心の豊かさやゆとり」という。）と答えた人の割合が28.0%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」（以下「物質的な面」という。）と答えた人の21.9%を上回っている。  
また、「一概には言えない」と答えた人の割合は39.3%であった。



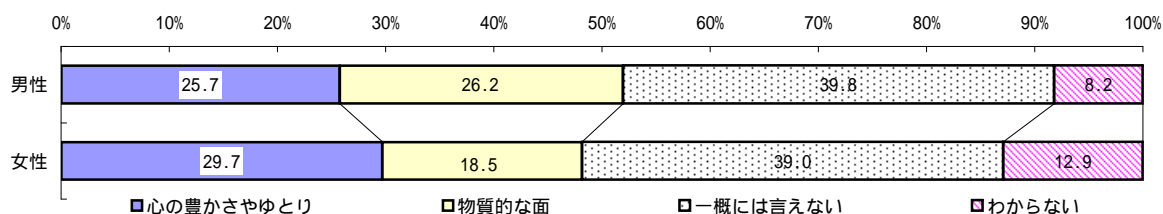
### 【経年変化】

経年変化をみると、大きな変化はみられないが、前回調査と比べ、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合は2.2ポイント減少し、「物質的な面」（1.4ポイント）、「一概には言えない」（3.2ポイント）と答えた人の割合は増加している。



### 【性別】

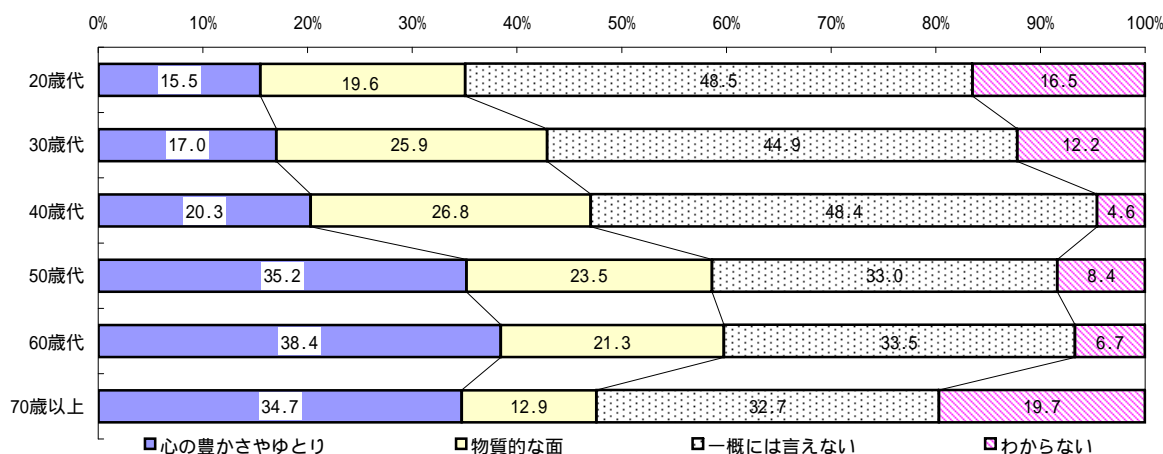
性別にみると、女性では、「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合が「物質的な面」と答えた人の割合を11.2ポイント上回っており、また、男性は「物質的な面」と答えた割合の方が高く、女性の方が「心の豊かさやゆとり」を重視する傾向となっている。



### 【年齢別】

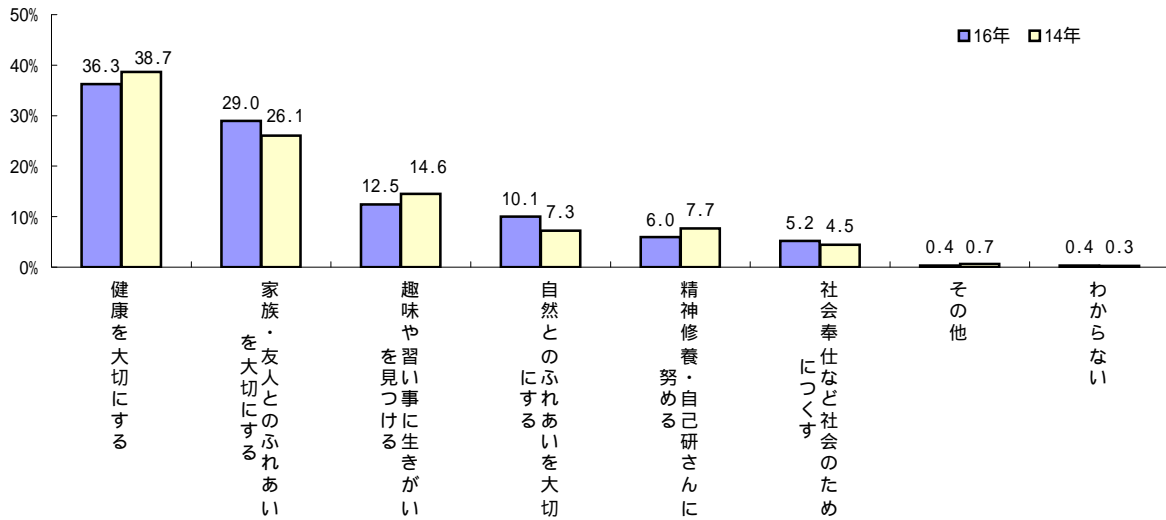
年齢別にみると、「心の豊かさやゆとり」と回答した人の割合は概ね年齢層が高いほど高くなっており、「物質的な面」と回答した割合は40歳代で最も高くなっている。

また、40歳代以下では「物質的な面」と答えた人の割合が「心の豊かさやゆとり」と答えた人の割合を上回っている。



### 《「心の豊かさやゆとり」の具体的内容》

「心の豊かさやゆとり」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「健康を大切にする」(36.3%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家族・友人とのふれあいを大切にする」(29.0%)、「趣味や習い事に生きがいを見つける」(12.5%)などの順となっており、前回調査と比べると、「自然とのふれあいを大切にする」が2.8ポイント増加し、「精神修養・自己研さんに努める」を抜き4位へ上昇している。



### 《「物質的な面」の具体的内容》

「物質的な面」と答えた人に、具体的にはどのようなことに重きをおきたいと思うかを聞いたところ、「広くて設備の整った家に住む」と答えた人の割合が37.8%と最も高く、以下「耐久消費財(立派な家具、最新の自動車・電気器具など)のそろった快適な暮らし」(22.8%)、「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」(19.2%)などの順となっているが、前回調査と比べ、「おいしいものをたびたび食べる」と答えた人の割合は増加し、「衣服や身の回りのおしゃれができる」は減少している。

